

室外ユニット耐(重)塩害仕様 仕様書

1. 適用

この仕様書は、次の環境汚染地域にパッケージエアコンの室外ユニットを据付ける場合に適用します。

1) 適用機種：PUHV-P***-BS, -BSGタイプ

2) 適用環境

耐塩害：潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所

- 具体的には
 - ①室外ユニットが雨で洗われる場所。
 - ②潮風の当たらないところ。
 - ③室外ユニットの設置場所から海までの距離が300mを越え1km以内。
 - ④室外ユニットが建物の影になる場所。

耐重塩害：潮風の影響を受ける場所

- 具体的には
 - ①室外ユニットに雨があまりかからない場所。
 - ②潮風が直接当たるところ。但し、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所。
 - ③室外ユニットの設置場所から海までの距離が300m以内。
 - ④室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所。
 - ⑤室外ユニット設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

海岸からの設置距離目安（設置環境により条件が変わります。）

①直接潮風の当たるところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐重塩害	耐塩害	耐塩害	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害	耐重塩害	耐塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害			

②直接潮風の当たらないところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐塩害	耐重塩害	耐重塩害	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害	耐重塩害	耐重塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害		耐重塩害	

2. 留意事項

耐塩害・耐重塩害仕様を使用した場合でも腐食・発錆に対して、万全ではなくパッケージエアコンの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

1. 耐塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされる場所、耐重塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置願います。
2. 室外ユニット外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように、日除け等は取付けしないでください。
3. 室外ユニットベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付け願います。
4. 特に海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
5. 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
6. 機器の状態を定期的に点検してください。（必要に応じて再防錆処理や、部品交換を実施してください。）

3. 仕様一覧

部 品		仕 様	標準仕様	耐塩害仕様 (BS)	耐重塩害仕様 (BSG)
ベース組立	ベース	素材	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板		
		表面処理	-	アクリル樹脂塗装	
	膜厚	-	20μm以上	25μm以上	
	ベース アシ	素材	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板		
表面処理		-	アクリル樹脂塗装		
		膜厚	-	20μm以上	25μm以上
正面パネル		素材	合金化亜鉛メッキ鋼板		
		表面処理	ポリエステル樹脂塗装	アクリル+ポリエステル樹脂塗装	
		膜厚	15μm以上	35μm以上	40μm以上
ハシラ(モータサポート)		素材	溶融亜鉛メッキ鋼板		
		表面処理	-	エポキシ樹脂塗装	
		膜厚	-	板金端面	
圧縮機カバー		素材	-		
		表面処理	-		
		膜厚	-		
ファンガード		素材	SWM鉄線		
		表面処理	ポリエチレン樹脂コーティング		
		膜厚	-		
プロペラファン		素材	ポリプロピレン樹脂成型品		
		表面処理	-		
		膜厚	-		
送風機台		素材	-		
		表面処理	-		
		膜厚	-		
熱交換器(フィン部)		素材	アルミ板		
		表面処理	-	ビニル系またはアクリル系樹脂塗装	
		膜厚	-	-	
制御箱	外装パネル	素材	溶融亜鉛メッキ鋼板		
		表面処理	クロムフリー被膜		
	膜厚	-			
	プリント基板	素材	ガラスコンポジットCEM-3		
表面処理		-	ポリオレフィン樹脂塗布		
		膜厚	-	20μm以上	
圧縮機		素材	熱間圧延鋼板		
		表面処理	アルキド樹脂塗装		
		膜厚	-		
パネル固定ネジ		素材	SWCH18A (鉄製)		
		表面処理	高耐食被膜処理		
		膜厚	-		

4. 適用基準

「空調機器の耐塩害試験基準 (JRA9002)」 : J R A (社団法人日本冷凍空調工業会) 制定